

聴覚障害者である児童生徒に対する教育

視覚的に情報を獲得しやすい教材・教具やその活用方法を工夫するとともに、コンピュータ等の情報機器などを有効に活用し、指導の効果を高めるようにすること。

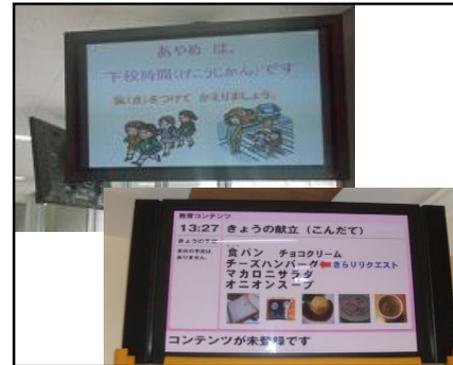
聴覚障害の（聞こえにくい・聞こえない）児童生徒に対しては、
聴覚情報（周囲の音・音声）とそれが表す意味内容などの情報を視覚化

➤ 教科書等を拡大提示 <電子黒板・大型ディスプレイ>



児童生徒の視線が、
教師やモニタ等を集まり、
話し合い活動の円滑化が期待できる。

➤ 校内放送を見える化 <大型ディスプレイ>



廊下天井等に設置し、
文字や写真等を提示する
ことで、視覚的かつ主体的
な情報獲得ができる。緊急
地震速報や非常ベルとの
連動も有効。

➤ 授業中の発話を見る化 <文字変換ソフト等>

